



## OpenJDK 17

# OpenJDK 17 for Windows のインストールおよび 使用

ガイド



# OpenJDK 17 OpenJDK 17 for Windows のインストールおよび使用

---

## ガイド

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Installing\_and\_using\_OpenJDK\_17\_for\_Windows.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

OpenJDK 17 for Windows は、Microsoft Windows プラットフォーム上の Red Hat 製品です。

『Windows 向けの OpenJDK 17 のインストールと使用』では、この製品の概要と、ソフトウェアをインストールして使用を開始する方法を説明します。

---

## 目次

多様性を受け入れるオープンソースの強化 .....	3
RED HAT ドキュメントへのフィードバック .....	4
第1章 OPENJDK 17 FOR WINDOWS インストールオプション .....	5
第2章 アーカイブを使用した WINDOWS 用 OPENJDK 17 のインストール .....	6
第3章 アーカイブを使用して WINDOWS 用の OPENJDK 17 の更新 .....	7
第4章 MSI インストーラーによる OPENJDK のインストール .....	8
第5章 OPENJDK MSI インストーラーコンポーネント .....	9
付録A MSI ベースのインストーラープロパティ .....	10



## 多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[弊社](#) の CTO、Chris Wright の [メッセージ](#) を参照してください。

## RED HAT ドキュメントへのフィードバック

弊社のドキュメントに関するご意見やご感想をお寄せください。フィードバックをお寄せいただくには、ドキュメントのテキストを強調表示し、コメントを追加できます。

本セクションでは、フィードバックの送信方法を説明します。

### 前提条件

- Red Hat カスタマーポータルにログインしている。
- Red Hat カスタマーポータルで、**マルチページ HTML** 形式でドキュメントを表示します。

### 手順

フィードバックを提供するには、以下の手順を実施します。

1. ドキュメントの右上隅にある **フィードバック** ボタンをクリックして、既存のフィードバックを確認します。



#### 注記

フィードバック機能は、**マルチページ HTML** 形式でのみ有効です。

2. フィードバックを提供するドキュメントのセクションを強調表示します。
3. ハイライトされたテキスト近くに表示される **Add Feedback** ポップアップをクリックします。ページの右側のフィードバックセクションにテキストボックスが表示されます。
4. テキストボックスにフィードバックを入力し、**Submit** をクリックします。ドキュメントに関する問題が作成されます。
5. 問題を表示するには、フィードバックビューで問題トラッカーリンクをクリックします。



## 第1章 OPENJDK 17 FOR WINDOWS インストールオプション

OpenJDK 17 for Windows は、アーカイブを使用またはグラフィカルユーザーインターフェースを使用して手動でインストールできます。

状況に応じて、以下のいずれかのインストール方法を使用します。

- [アーカイブを使用した OpenJDK のインストール](#)
- [MSI インストーラーによる OpenJDK のインストール](#)

## 第2章 アーカイブを使用した WINDOWS 用 OPENJDK 17 のインストール

この手順では、アーカイブを使用して Windows 用の OpenJDK 17 を手動でインストールする方法を説明します。

### 手順

1. Windows 用の OpenJDK 17 の [アーカイブをダウンロード](#)します。
2. アーカイブの内容を任意のディレクトリーに展開します。



#### 注記

ZIP バンドルの内容を、スペースを **含まない** ディレクトリーパスに抽出することが推奨されます。

3. 以下のように **PATH** を更新します。
  - a. Windows インストールパス用の OpenJDK 17 に含まれる **bin** ディレクトリーを、**%PATH%** 環境変数に追加します。

```
C:\> setx /m PATH "%PATH%;C:\Progra~1\RedHat\java-17-openjdk-17.0.0.0.35-1\bin"
```

パスにスペースが含まれている場合は、短いパス名を使用します。

- b. コマンドプロンプトを再起動して、環境変数を再読み込みします。
4. Windows 用の OpenJDK 17 が正常にインストールされていることを確認し、コマンドプロンプトで **java -version** コマンドを実行して、以下の出力を取得する必要があります。

```
openjdk version "17" 2021-09-14 LTS
OpenJDK Runtime Environment 21.9 (build 17+35-LTS)
OpenJDK 64-Bit Server VM 21.9 (build 17+35-LTS, mixed mode, sharing)
```

5. **%JAVA\_HOME%** 環境変数も、開発者ツールを使用するように設定する必要があります。**%JAVA\_HOME%** 環境変数を設定します。

- a. 管理者としてコマンドプロンプトを開きます。
- b. Windows インストールパス用に、環境変数の値を OpenJDK 17 に設定します。

```
C:\> setx /m JAVA_HOME "C:\Progra~1\RedHat\java-17-openjdk-17.0.0.0.35-1"
```

パスにスペースが含まれている場合は、短いパス名を使用します。

- c. コマンドプロンプトを再起動して、環境変数を再読み込みします。

## 第3章 アーカイブを使用して WINDOWS 用の OPENJDK 17 の更新

Windows 用の OpenJDK 17 は、アーカイブを使用して手動で更新できます。

### 手順

1. OpenJDK 17 の [アーカイブをダウンロード](#)します。
2. アーカイブの内容を任意のディレクトリーに展開します。



#### 注記

ZIP バンドルの内容を、スペースを含まないディレクトリーパスに抽出することが推奨されます。

3. コマンドプロンプトで、以下のように **JAVA\_HOME** 環境変数を更新します。
  - a. 管理者としてコマンドプロンプトを開きます。
  - b. Windows インストールパス用に、環境変数の値を OpenJDK 17 に設定します。

```
C:\> setx /m JAVA_HOME "C:\Progra~1\RedHat\java-17-openjdk-17.0.0.0-35-1"
```

パスにスペースが含まれている場合は、短いパス名を使用します。

- c. コマンドプロンプトを再起動して、環境変数を再読み込みします。
4. **PATH** 変数の値が設定されていない場合は、値を設定します。

```
C:\> setx -m PATH "%PATH%;%JAVA_HOME%\bin";
```

5. コマンドプロンプトを再起動して、環境変数を再読み込みします。
6. 完全パスを指定せずに **java -version** が機能することを確認します。

```
C:\> java -version
openjdk version "17" 2021-09-14 LTS
OpenJDK Runtime Environment 21.9 (build 17+35-LTS)
OpenJDK 64-Bit Server VM 21.9 (build 17+35-LTS, mixed mode, sharing)
```

## 第4章 MSI インストーラーによる OPENJDK のインストール

この手順では、MSI ベースのインストーラーを使用して Windows 用の OpenJDK 17 をインストールする方法を説明します。

### 手順

1. Windows 向けに OpenJDK 17 の [MSI ベースのインストーラーをダウンロード](#) します。
2. Windows 用の OpenJDK 17 用のインストーラーを実行します。
3. Welcome 画面で **Next** をクリックします。
4. **I accept the terms in license agreement** をチェックして、**Next** をクリックします。
5. **Next** をクリックします。
6. デフォルトを使用するか、[オプションのプロパティ](#)を確認します。
7. **Install** をクリックします。
8. **Do you want to allow this app to make changes on your device?** で **Yes** をクリックします。
9. Windows 用の OpenJDK 17 が正常にインストールされていることを確認し、コマンドプロンプトで **java -version** コマンドを実行して、以下の出力を取得する必要があります。

```
openjdk version "17" 2021-09-14 LTS
OpenJDK Runtime Environment 21.9 (build 17+35-LTS)
OpenJDK 64-Bit Server VM 21.9 (build 17+35-LTS, mixed mode, sharing)
```

## 第5章 OPENJDK MSI インストーラーコンポーネント

Windows MSI ベースのインストーラーコンポーネント用に、以下の OpenJDK 17 を設定します。これらのコンポーネントの設定は任意です。これらのコンポーネントが設定されていない場合には、デフォルト設定が使用されます。

### **jdk**

Java Development Kit (JDK) ファイルデフォルトは **true** で、**jdk** コンポーネントが有効になります。

### **jdk\_registry\_runtime**

他のソフトウェアが JDK インストールファイルの特定に使用できる Windows レジストリーキーのセット。デフォルトは **true** で、**jdk\_registry\_runtime** コンポーネントが有効になります。このコンポーネントには、以下のレジストリーキーが含まれます。

```
HKLM\Software\JavaSoft\JDK\<version>, entries:  
  JavaHome: <INSTALLDIR>  
  RuntimeLib: <INSTALLDIR>\bin\server\jvm.dll
```

```
HKLM\Software\JavaSoft\JDK, entries:  
  CurrentVersion: <version>
```

### **jdk\_env\_path**

<INSTALLDIR>\bin を %PATH% 環境変数に追加します。

### **jdk\_env\_java\_home**

<INSTALLDIR> を %JAVA\_HOME% 環境変数に設定します。

### **jdk\_env\_vendor\_java\_home**

<INSTALLDIR> を %REDHAT\_JAVA\_HOME% 環境変数に設定します。

### **jdk\_registry\_jar**

JAR ファイルの関連付け。OpenJDK コンテキストメニューで JAR ファイルを起動します。

### **jmc**

<INSTALLDIR>\missioncontrol にインストールされている JDK Mission Control ファイル。

### **jmc\_env**

<INSTALLDIR>\missioncontrol をシステム %PATH% 環境変数に追加します。

## 付録A MSI ベースのインストーラープロパティー

Windows MSI ベースのインストーラー用の OpenJDK 17 には、**JDK ファイル** コンポーネントと、以下のオプションのプロパティーが含まれています。

表A.1 OpenJDK 17 for Windows MSI ベースのインストーラープロパティー

プロパティー	説明	デフォルト値
OpenJDK ランタイム: Windows レジストリー	他のソフトウェアが JDK インストールファイルの特定に使用できるレジストリーキーのセット。	可
OpenJDK ランタイム: パス変数	Runtime を Path 変数に追加するため、コマンドラインで使用できるようにします。	○
OpenJDK ランタイム: JAVA_HOME システム変数	JAVA_HOME は、Java ランタイムを見つけるために一部のプログラムによって使用されます。	×
OpenJDK Runtime: REDHAT_JAVA_HOME システム変数	REDHAT_JAVA_HOME は、プログラムによって Red Hat OpenJDK ランタイムを検索できます。	×
OpenJDK ランタイム: Jar ファイルの関連付け	これにより、Windows Explorer 内から Jar ファイルを実行できます。	×
ミッションコントロール: ファイル	<installdir>\missioncontrol ディレクトリーにインストールされるファイルが含まれます。	×
ミッションコントロール: パス変数	<installdir>\missioncontrol をシステム PATH 環境変数に追加します。	不可

改訂日時: 2021-11-21 17:37:51 +1000